

平成 27 (2015) 年 12 月 10 日



宗像市

街に、ルネッサンス



独立行政法人都市再生機構九州支社

60年 まちと一緒にこれからも。

宗像市日の里地区地域医療福祉推進協議会の発足について

宗像市では、昭和 40 年代から開発された九州を代表する大規模住宅地「日の里」における住民の高齢化、住宅の老朽化や空き家の増加等の問題に対応すべく、持続可能な都市構造へと住宅地の再生に取り組んでいくこととしております。また、第 6 期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において、地域包括ケアの視点に立ち、『住み慣れた地域で支え合い、いきいきと安心して暮らせるまち』を目指し、コミュニティや NPO を含む市民、医療機関や大学等の関係団体と協働して、高齢者福祉施策のより一層の推進を図ることとしています。

独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」といいます。）では、「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちづくり」を目指し、UR賃貸住宅を中心として住み慣れた地域で最期まで住み続けることができる環境（Aging in Place）を実現するため、地方公共団体等と連携してUR賃貸住宅の地域医療福祉拠点化を推進しており、同九州支社では、12月1日付けで新たに『日の里団地』（福岡県宗像市）を対象として、宗像市とともに地域医療福祉拠点の形成に向けた取組みに着手しました。

宗像市とUR都市機構は、これらの取組みを地域関係者等とともに推進するため、**宗像市日の里地区地域医療福祉推進協議会**（以下「協議会」といいます。）を発足させることとし、**第1回協議会**を12月17日（木）に開催いたします。

お問い合わせは下記へお願いします。

宗像市

都市戦略室秘書政策課

（電話）0940-36-1284

独立行政法人都市再生機構九州支社

住宅経営部 ストック再編事業チーム

（電話）092-722-1045

総務部 総務チーム

（電話）092-722-1004

1 協議会について

協議会は、宗像市日の里地区（日の里中学校区）の関係機関、団体等が連携・協力し、一体となって、少子化・高齢化等の地域における諸課題に対応する取組みを協働して実施することにより、子育て支援、高齢者支援などの地域医療福祉の推進、良好なコミュニティ形成等、地域の活性化に資することを目的としています。

発足当初の構成は下表のとおりとし、宗像市とUR都市機構とが共同して事務局運営を担います。

【会員】	宗像市日の里地区コミュニティ運営協議会 (株)アクロスプランニング（家事代行サービス事業者） 宗像市 独立行政法人都市再生機構 九州支社
【アドバイザー】	一般社団法人宗像医師会 学校法人日本赤十字学園 日本赤十字九州国際看護大学

2 協議会の発足趣旨説明（記者発表）について

第1回協議会の開催にあわせて、下記のとおり、報道機関向けに発足趣旨説明を行います。

(1) 日時 平成27年12月17日（木）15:30から

(2) 場所 宗像市役所 本館3階 304会議室

(3) 次第 <<挨拶>>

宗像市長 谷井 博美

UR都市機構九州支社 支社長 内山 省吾

<<協議会メンバー紹介>>

日の里地区コミュニティ運営協議会 会長 今川 泰志

(株)アクロスプランニング 代表取締役社長 青木 直之

学校法人日本赤十字学園

日本赤十字九州国際看護大学 教授 小林 裕美

一般社団法人宗像医師会 理事 島村 隆二

<<趣旨説明>>

UR都市機構九州支社

住宅経営部団地マネージャー 西村 正則

<<質疑応答>>

※当日のお問い合わせは、宗像市都市戦略室秘書政策課

(電話) 0940-36-1284

(参考) 宗像市日の里地区の区域図



※ 日の里地区は、日の里中学校区の範囲であり、日本住宅公団（現UR都市機構）の土地区画整理事業により昭和 40 年代に開発された 217.7ha の大規模住宅地です。